

会 議 録

会議の名称		第 5 回津山地域開校準備委員会
開催日時	令和 4 年 4 月 27 日（水）	
	午後 7 時 00 分 開会	
	午後 8 時 00 分 閉会	
開催場所		津山老人福祉センター 2 階集会室
委員出席者	大 山 豪 委員	柳津小学校 P T A 会長
	菅 原 和 彦 委員	横山小学校 P T A 会長
	熊 谷 康 成 委員長	津山中学校 P T A 会長
	林 三 治 委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	堀 田 耕 平 委員	横山小学校学校運営協議会長
	今 野 政 雄 委員	津山中学校学校運営協議会長
	阿 部 篤 雄 副委員長	津山町行政区長会長
	阿 部 宗 幸 委員	つやま杉の子こども園保護者会副会長
	鹿 野 征 美 委員	柳津小学校長
	伊 藤 秀 樹 委員	横山小学校長
	佐 藤 順 子 委員	津山中学校長
事務局出席者	白 岩 登世司	学校再編推進室長
	千 葉 道 宏	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西 條 文 武	学校再編推進室主査
	佐 藤 春 香	学校再編推進室主事
欠席者		
傍聴者		0 人
議事		(1) （仮称）津山小学校の学校づくりに関する意見集約結果について (2) （仮称）津山小学校の校章の選定方法について (3) （仮称）津山小学校校歌の歌詞に入れたい「単語・フレーズ」の募集方法について (4) 専門部会等の報告事項について
議事	事務局	開会 午後 7 時 00 分
	事務局	第 5 回津山地域開校準備委員会を開会する。
	委嘱状交付	新任委員に委嘱状を交付
	事務局	委員交代により、委員長不在となっているため、委員長の選任を行う。進行は、阿部副委員長にお願いする。
	副委員長	委員長を選任する。選任方法について意見はあるか。
	委員	事務局案はないか。
	副委員長	事務局案との意見があったが、他に意見がなければ事務局案でよろしいか。
	委員	（異議なし）
	副委員長	それでは、事務局案の説明を求める。

事務局	事務局としては、委員長は津山中学校保護者代表の熊谷康成委員にお願いしたいと考えている。
副委員長	津山中学校保護者代表の熊谷康成委員に委員長をお願いするということによろしいか。
委員	(異議なし)
副委員長	それでは、委員長は熊谷康成委員にお願いする。進行を事務局に戻す。
事務局	議事に入る。議長は、委員長にお願いする。
委員長	はじめに、本日の会議の会議録署名委員を指名する。 本日の会議録署名委員は、伊藤秀樹委員と佐藤順子委員にお願いする。 議事１は、「(仮称)津山小学校の学校づくりに関する意見集約結果について」である。 前回の会議では、各委員から所属団体での意見集約結果の報告を含めて意見をいただき、今回の会議までに事務局でまとめることとしていた。事務局に説明を求める。
事務局	前回の会議で各委員からいただいた意見を、「どのような学校にしたいかという学校像に関すること」、「どのような子どもに育てほしいかという児童像に関すること」、「統合小学校の望むこと、重視してほしい教育、取り組んでほしい活動等」の３項目に区分し、それぞれの意見の要点を整理したものが資料１である。 資料１にまとめた内容を、(仮称)津山小学校の学校づくりに関する本開校準備委員会の意見とし、今後の本開校準備委員会や専門部会での協議・検討は、これらの意見を踏まえて進めていただきたいと考えている。
委員長	説明のあった内容について、意見などはあるか。
委員	(意見なし)
委員長	意見がなければ、議事１については、事務局の説明のとおりとしてよろしいか。
委員	(異議なし)
委員長	議事２は、「(仮称)津山小学校の校章の選定方法について」である。 校章の選定方法については、「公募」か「識者に依頼」を軸に、今回の会議で決定することにしていて。事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき説明。資料２－２については、公募範囲のパターンのみを説明。)
委員長	まずは、「公募」とするか「識者に依頼」とするかについて、各委員が

		ら意見をいただく。
	委員	公募で、資料２－２のパターン２の公募範囲が良いと思う。
	委員	公募が良いと思う。デザインということなので、入口を狭くするよりは、資料２－２のパターン４の広く募集とした方がより良いものが出てくると思う。
	委員	私たちの小学校ということで、地域の人、縁のある人への公募、資料２－２のパターン３が良いのではないかと。柳津と横山それぞれの小学校がなくなるといって、遠くにいる人でそういう思いのある人たちにも広く応募してもらい、津山小学校らしい校章ができればと思う。
	委員	校章だと、公募しても応募される方がいないのではないかと。識者に依頼が良いのではないかと。津山地域には、横山にも柳津にも、美術展などで何度も入選されている方がおり、そういう方なら津山の特色もわかっていて、それを反映させることもできるのではないかと。
	委員	基本的には公募が良いと思う。範囲だが、津山の特色を反映させるという点からは、地元中心の公募ということで、資料２－２のパターン１か２で良いのではないかと。
	委員	公募で資料２－２のパターン２が良いと思う。校名を決めるときにも、学校やこども園の先生方の関わりについての話があった。どのくらいの応募があるかという点は気になる。
	委員	公募も依頼も、どちらも良いところ、難しいところがあり、小学生となると、授業で一つ一つ教えながらでないと応募は難しいと思う。どういものが出てくるのかという不安もあるが、どちらかといえば公募だと思っている。
	委員	心配しているのは、今回の会議も、コロナウイルス感染症の影響で、前回から２カ月空いており、校旗や運動着の発注に間に合うのかということで、それを考えると、地域内公募や識者への依頼だと短い期間でもできるのではないかと。
	委員	どちらにも難しさがある。どちらかというと公募で、地域の人たちの思いが反映された校章になればと思う。
	委員	図案は、応募されたものをそのまま使うのか、それとも若干手直しはするのか。
	事務局	公募となれば手描きでの応募もあり、そのまま使用するというのは難しい場合も想定されるので、補作することは考えている。
	委員	基本は公募で良いのではないかと。地域には優秀な識者もおり、どう関わってもらうかを考える必要がある。

委員	たとえば、津山中学校の校章を小学校用にして使うということも考えられるのではないか。期間がない中で、時間がかかると、発注などに支障もあり、スピード感となるとそういう方法も考えられる。
委員	各小学校と中学校で、先生方に構図などを指導してもらい、一人一人だと難しいので、何チームかで、学校として案を出してもらい、その中から選ぶという方法も良いのではないかなと思う。校名と違って、範囲を広げても、どの程度応募があるのかという心配はある。
委員	小中学校で案を出すという考え方も一理あると思う。
委員	小中学生に、このような構成でというイメージをわかりやすく伝えることも必要ではないか。
委員	図の構成、杉や矢羽、イヌワシなど何をモチーフにするのか。できる限り、何か津山の特色を一つは入れてほしいが、難しい部分でもある。
委員	旧津山町の町章を使うというのはどうか。
委員	今までの町章や校章などのかたちを見ると、町のことが盛り込まれているようである。
委員長	公募とするか、依頼とするかという点については、公募という意見が多いが、公募というかたちで進めて良いか。
委員	公募で良いと思う。あとは範囲ということになる。
委員	校章の募集というだけでは、漠然としてイメージできないと思うので、現在の各小中学校の校章をサンプルとして出して、応募される方には何をイメージして描いたのかを書いてもらってはどうか。
事務局	応募用紙には、本日配布している資料３－３裏面に記載している各校の校歌のようなかたちで、各校の校章も記載したいと考えている。
委員	第１回の会議の参考資料のように各校の校章の説明資料だとわかりやすい。
委員	現在の各校の校章を載せるということで、先入観を持たれるということの難しさはあると思う。 公募であっても、デザインができる人に応募の声かけをすることは良いと思う。
委員	地域の歴史や地理、実情がわかっていて、デザインにも精通している人材はもったいないので、公募でも、ぜひ応募してほしいと思う。
委員長	公募ということで、資料２－２のパターン２の公募範囲ということで決

		定してよろしいか。また、応募用紙には、資料３－３のように、参考資料として各校の校章を記載するよう進めることでよろしいか。
	委員	(異議なし。)
	事務局	公募範囲は、資料２－２のパターン２ということで決定いただいたので、それをもとに次回の会議で募集要領や応募用紙などの募集方法の詳細を検討し、決定いただきたい。
	委員長	次に、議事３は「(仮称)津山小学校校歌の歌詞に入れたい「単語・フレーズ」の募集方法について」である。 前回の会議で、校歌の歌詞に入れたい「単語・フレーズ」については、公募することに決定していた。本日は、募集方法について決定したい。事務局に説明を求める。
	事務局	(資料に基づき説明。)
	委員長	まずは、公募の範囲について、各委員から意見をいただく。
	委員	資料３－２のパターン１か２が良いと思う。
	委員	資料３－２のパターン２が良い。先生方は、色々な学校の校歌を聞いており、そういった意見もいただくことができると思う。
	委員	資料３－２のパターン３が良いと思うが、縁のある方への周知方法はどのように考えているのか。
	事務局	基本は市の公式ホームページとなる。
	委員	資料３－２のパターン３が良いと思う。新聞の俳句・短歌の欄を見ると、登米市の方が結構載っている。元教員の方などかもしれないが、そういった言葉を知っている方にも応募してもらうのも良いと思う。
	委員	資料３－２のパターン２か３が良いと思う。
	委員	資料３－２のパターン２か３が良いと思うが、パターン３の場合、周知に工夫が必要ではないか。ホームページだけだと難しいと思う。
	委員	在仙津山会や在京津山会のネットワークは活用できないか。
	委員	総会などの場で、お知らせしないと難しいのではないか。現在は、コロナウイルス感染症の影響で、そういった場もないと聞いている。
	委員	ホームページだけでも良いのではないか。興味のある人は見ると思う。
	委員	今回は、単語・フレーズを募集するが、最終的な作詞はどのように考えているのか。

事務局	次回、作詞については、公募や識者への依頼を含めて、検討したいと考えている。公募方法や識者などについては、地域の意見を聞いてから進めたいと考えている。まずは、単語・フレーズの募集で、作詞のための材料を集めたい。
委員	公募範囲は、校章と合わせた方が良いのではないかと説明が難しい。
委員	作詞については難しいが、単語・フレーズとなれば、より身近なものとするためには、資料３－２のパターン１か２の狭い範囲での募集が良いのではないかと。
委員	資料３－２のパターン２か３が良いと思う。
委員	資料３－２のパターン２で単語・フレーズは揃うと思う。次の作詞の段階となれば、専門知識を持っている方や範囲を広げての公募も十分に検討しなければならないが、単語・フレーズであればパターン２で良いと思う。
委員長	公募範囲は資料３－２のパターン２か３という意見がある。
委員	校章と合わせてパターン２で良いのではないかと。
委員長	公募範囲は、資料３－２のパターン２ということでよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	次に募集期間だが、事務局の説明では５月１６日から５月３０日までの期間を案としているが、その期間について意見等はあるか。
委員	(意見なし。)
委員長	意見がなければ、募集期間については、５月１６日から５月３０日としてよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	その他、応募用紙の配布方法、周知方法、応募方法、応募作品の取扱い、応募用紙について、意見はあるか。
委員	(意見なし。)
委員長	意見などなければ、案のとおり決定してよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	それでは、５月１６日から募集を開始する。

		各委員所属団体でも応募の声がけなど願います。
委員長		次に、議事４は「専門部会等の報告事項について」である。 事務局に説明を求める。
事務局		(資料に基づき説明)
委員長		説明のあった内容について、意見や質問はないか。また、補足説明等はあるか。
委員		(意見なし。)
委員長		次に、その他について、事務局から何かあるか。
事務局		その他について、２件ある。 まず、報告だが、統合校整備について、柳津小学校校舎の改修に係る実施設計業者が昨年度末に決まり、４月から業務が始まっている。現在は校舎の現地調査を行っている。調査等が終わり次第、具体的な改修内容について本委員会でも説明させていただきたい。業者は、仙台市の株式会社楠山設計である。 ２点目は、次の開催日について決定させていただきたい。校章の募集方法決定や校歌の歌詞募集の検討があるため、各小学校の運動会終了後の日程で５月１７日から１９日までの間で開催を考えている。
委員長		次回はいつ頃の開催とするか。
委員		５月１８日ではどうか。
委員長		次回は、５月１８日（水）の午後７時からでよろしいか。
委員		(異議なし。)
委員長		議事は以上となる。事務局に進行を戻す。
委員		２点質問がある。１点目は、本日の議事１で決定した開校準備委員会でもとめた資料１の意見をもとに、教育課程部会の学校目標等の検討を進めて良いか。
事務局		そのように進めていただきたい。
委員		学校目標や学校経営案など決まったものから順に、開校準備委員会に示していく。２点目は、横山小学校で借りている学校田や畑の予算について、令和５年度も予算計上する場合には、新しい学校で学習田や畑での活動を行うかどうかについて、開校準備委員会です承を得る必要があるか。
事務局		予算は教育委員会での対応となるが、教育課程も含め、新しい学校の教育の中で取り組む活動などについては、まず専門部会で検討していただ

		き、開校準備委員会で方針を確認していくというかたちで進めていく。
	事務局	以上で、第 5 回津山地域開校準備委員会を閉会する。
	事務局	閉会 午後 8 時 00 分